

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(月)・六日(火)

午前九時半・午後二時より

五日(月)午後七時より

仏教婦人会報恩講



今号の法語



おがむ人も

おがまれている

おがまない人も

おがまれている

内容・福島へお米支援ご協力をお願い
内・夏休み子ども大会が開かれました
号・本堂雨漏り修理の報告
今・十月二十七日(土)は「仏具みがき」

東京の築地本願寺の掲示板にあつた言葉です。「仏さま」という方のお心に気づかせられる言葉ではないでしょうか。「おがむ人もおがまれている」。なるほど、「おがむ人はおがまれている」、納得ですね。しかし次の言葉に私たちは戸惑います。「おがまない人もおがまれている」。「えっ?」と言いたくなる言葉ですね。普通なら「おがまない人は見捨てられる」などの言葉になりそうなものです。

こう思ってしまうところに、私たちと仏さまとの違いがあるのではないのでしょうか。

おがむ人もおがまない人も区別なく、あらゆる方を必ず救いきつていくと誓われた仏さま。そのお心には、見返り・条件などは毛頭ありませんでした。

福島へお米支援

ご協力をお願い

広済寺寺報第十四号でお伝えした、福島県相馬地区へのお米支援から一年。今年も浄土真宗本願寺派高岡教区として、お米支援をしようということになりました。昨年は実に六トンを超すお米が集まり、相馬地区の門信徒の方々へ、相馬地区にある浄土

真宗本願寺派のお寺(東北教区相馬組全一〇カ寺)を通して



て、確かに届けられました。

福島県第一原発周辺となるこの地域では、現在も相馬組全一〇カ寺の内、七カ寺が避難生活を余儀なくされている状態です。

昨年お米をお届けした際には、「私たちはこのまま見捨てられていくのではという不安の中、このように私たちを気にかけて下さる方たちがいることが本当に心強くうれい」という言葉をいただきました。



高岡教区においては、門信徒の方々の後押しが大きな力となつて、ついに今年も支援米プロジェクトを決定することができました。呉西地域とも縁が深い相馬地区の方々の力に少しでもなるこ

とができたと思います。

支援米は、新米(できれば玄米)をお願いさせていただいております。量の指定はありません。受付場所は広済寺です。期間は十一月一五日まで。広済寺の報恩講の際も受け付けますので、どうか皆様のご協力をお願い申し上げます。

し上げます。

その他お問い合わせは広済寺まで

☎

広地門徒総代がお亡くなりになりました

十月八日、広済寺門徒総代である広地功七(こうしち)さんがご往生されました。

広地さんには広済寺の護持発展に多大なご尽力を賜りました。深く感謝を申し上げます。寺報にて皆様にお知らせいたします。



八月の五位組子ども大会にてお話しされる広地功七門徒総代

しかし、それからまた一年。東日本大震災の記憶はますます人々の心の中から薄れつつあるように思います。



夏休み子ども大会が開かれました

くお寺で過ごす夏休みく

八月一日(水)午前
九時半より第一四回
五位組^そ夏休み子ども
大会が広済寺にて開
かれました。各地か
らたくさんの子ども
たちが集まってきて
くれて、お寺で過ご
した楽しい夏の思い



出となつてくれていたらと思
います。

皆で仏さまの前で「らいはいのうた」のお勤めをした後は、風船ゲームやじゃんけんゲームをして遊びました。初めて会ったという子どもたち同士もゲームを通す中でいつの間にか友だちに。学校の枠を越えたつながりが生まれていることを嬉しく思いました。

ゲーム後はお馴染みとなつたBMXショー。BMXライダー達が自転車で色々な技を見せてくれました。宙返りはもちろん、今年はなんと車越えも。その迫力に子どものみならず大

人たちも大興奮でした。

また懐かしの紙芝居も。真剣に見入る子どもたちの姿が印象的でした。

帰りには風船ヨーヨー釣り。

これも人気で男の子も女の子も皆楽しんでくれました。

来年も開催予定のこの子ども大会。今年来れなかった人も来年は是非参加して下さいね！

本堂雨漏り修理の報告

九月に本堂屋根裏からポツポツと音がしているのを発見。すぐさま以前本堂を修復していただいた業者責任者の方に見ていただきました。

早速修理していただけたことので二日間作業終了。修復から日が浅いこともあり、今回の修理費用は発生しませんでした。



作業中の様子



自転車で車を跳び越える

十月二十七日(土)は仏具みがき

十月二十七日(土)に仏具みがきを行います。

真鍮製仏具は午前九時から夕方にかけて。宣徳製仏具は午後七時半からの広済寺仏教婦人会にて行われます。

十一月の報恩講をお迎えするための大切な準備です。一緒に磨いていただける方、仏具みがきに興味のある方は是非お越しください。磨けば磨くほど美しい輝きを見せる仏具みがき。今年もご協力お願い致します。



お知らせ

二〇一二年

おみがき

十月二十七日(土)

午前九時より

報恩講

十一月五日(月)・六日(火)

午前九時半より

午後二時より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

御伝鈔拝読

十一月五日(月)

午後四時より

子供報恩講

十一月五日(月)

午後五時より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(月)

午後七時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

※十月はお休みします

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※十一月はお休みします

※月参りについて

十一月四日・五日・六日の三日間はお休みさせていただきます



編集後記

先日、日本中が喜んだ大きなニュースがありました。山中伸弥さんのノーベル医学生理学賞受賞決定のお知らせです。

近年日本人の科学技術分野におけるノーベル賞受賞が相次いでいますが、その度に思うのが、その受賞理由の研究の難しさ。受賞直後は様々なメディアで解説されるのですが、毎回わかったようなわからないような。結局、とにかくすごいことなんだということに落ち着きます(笑)

さて、今回の受賞において改めて有名になったiPS細胞。この細胞は様々なものに変化する能力をもっているとのこと。臓器から骨まで何でも再生できるようになるのだそうです。

これは良くも悪くも様々な可能性を広げます。今を生きる私たちはまさに今、精神面での成長が求められているのではないのでしょうか。